IFF GUIDE 2025

Fire Safety

北海道大学大学祭全学実行委員会事務局

総務部　防災担当

IFF担当

はじめに

祭での火災や事故は、人命に関わる事案であり、安全は第一優先されるべきです。**毎年出店しているからと言って決して油断しないでください。**

この文書は消防署の指導および大学事務との打ち合わせの上で作成したものです。

北大祭スタッフは、この文書の内容に違反していた参加団体に対して、改善のための指導・指示を行います。指導・指示を繰り返し受けた場合や重大な違反があった場合は、活動の制限を含む処分を行う場合があります。さらに、消防および大学事務などから別に処分が行われる可能性もあります。

提出物

書類名	配布日・申請開始時	提出日・締め切り	提出媒体
Cooking Equipment Application	4/21 20:00	5/1 23:50	Web
Fire Safety Agreement	5/19（GA#6）に配布	6/2（GA#7）	紙媒体

Cooking Equipment Application

この申請は防災スタッフが団体が使用する火気器具を把握しコンクリートブロック、スレート板の枚数を決定するために使われます。（この申請の提出期限は5/1であり、すでに過ぎています）。詳細は “IFF Guide 2025 Rental Equipment, Container and Ice”を参照してください。

Fire Safety Agreement

この書類には、Tent Leader、Vice Tent Leader、Fire Safety Managerのサインが必要です。GA#6に配付されるので、GA#7にその三者のサインを記入したものを持ってきてください。

火気器具・電気器具

1. 火気器具・電気機器

火気器具・電気機器を使用するには、Fire Equipment Application（締め切り：5/1）が必要です。

《禁止》申請していない火気器具・電気機器を使用する

※火気器具とは、ガスコンロ・七輪・暖房器具・炊飯器などの火や熱が発生するすべての器具を指します。

〖必要〗可燃物やテントの幕から鉛直方向に100cm、水平方向に30cm以上離す

《禁止》ガソリン火災・油火災の水での消火　→〖必要〗消火器を用いた消火

2. スレート板・コンクリートブロックについて

机の上で火気器具を使用する場合　→**〖必要〗スレート板を敷く**

七輪などの炭火を使うような火力の強い火気器具を使用する場合 →**〖必要〗コンクリートブロックを敷く**

〖必要〗スレート板・コンクリートブロックは6/6（金）7:30~8:30までにHUISAテントに取りに来る。

〖必要〗スレート板にアルミホイルを巻く（アルミホイルは前日までに各団体で用意すること）

《禁止》スレート板を切る・装飾をするといった加工をする

ガソリン

1. ガソリンの購入

大学周辺のガソリンスタンドを利用してください。

〖必要〗ガソリン携行缶および学生証など身分証の準備

《禁止》セルフサービスのスタンドで、利用者自身が給油すること（法令によって禁止されている）

《禁止》ペットボトルやプラスチックのポリタンクでの保管

2. ガソリンの取り扱いについて

〖必要〗ガソリン携行缶での保管

発電機をレンタルした団体

〖必要〗ガソリン携行缶は6/6の朝に高等教育推進機構に取りに来ること

詳細は“RentalEquipment, Package and Ice Guide” を参照

発電機を自分たちで準備した団体

〖必要〗自分たちでガソリン携行缶を準備する。ポリタンクなどで代用不可。

〖必要〗直射日光の当たらない安定した地面に直接置く

〖必要〗火気器具・電気機器から十分に離す

〖必要〗携行缶の返却の際、ガソリンが中に残っていてもそのまま返却する

〖必要〗携行缶の蓋を開ける前に、ガス抜き（エア抜き）を行う

《禁止》道端に撒いたり、水道に流したりする

《禁止》携行缶の蓋を開けた状態での放置

3. ガソリン漏れが発生した場合について

少しでもこぼれたら、必ず以下の３点を行うこと。自己判断で行動しないこと。

- 発電機を含む**火気器具や電気機器の使用をただちに停止**する。
- 可燃物を遠ざける。
- 近くのIFFスタッフに伝える。

プロパンガス

〖必要〗**直射日光の当たらない通気性の良い場所に設置し、倒れないように固定する**
〖必要〗接続部分をホースバンドなどで締めつける
〖必要〗使用前にゴムホースにひび割れなどの劣化がないか確認する
《禁止》北大祭事務局を介さずに購入したプロパンガスを使用する
《禁止》２m以上の長さのゴムホースを使用する
《禁止》ゴムホースを机の脚などに巻きつける
《禁止》火気器具の近くに設置する
《禁止》ガスボンベの又貸しをする

発電機

1. 発電機

〖必要〗テントの外に設置する
〖必要〗雨天時は、発電機のコンセント部分が濡れないようにする
〖必要〗始動したら必ずチョークノブを元の位置に戻す
〖必要〗ガソリンを追加する際は、2人以上で作業を行う
〖必要〗ガソリンを追加する際は、必ず電源を止める
《禁止》ガソリン以外の燃料の使用
《禁止》排気口の先に可燃物（テントの幕を含む）やガソリン携行缶を置く

2. ドラムコード

〖必要〗完全に伸ばした状態で使用する
〖必要〗雨天時はドラムコードをテント内に置く

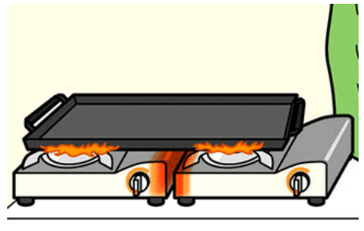
炭火・カセットコンロ・装飾

1. 炭火

〖必要〗火消しつぼ、および消火用バケツを準備する
《禁止》芝生の上での使用

2. カセットコンロ

〖必要〗カセットボンベが高温にならないように注意する
《禁止》鉄板などがボンベの上にかかる（特に右図のような2連での使用）



3. 投光器・装飾

〖必要〗装飾品はしっかりと固定する
《禁止》投光器など照明器具や火気器具の近くへの装飾
《禁止》キャンドルなどの火気を伴う装飾

消火器

北大祭期間中は、北大祭事務局が一部の区画を消火器設置区画に指定します。消火器と消火器設置区画証は北大祭事務局が手配・準備します。

消火器設置テント一覧

- IFF1 Malaysia, IFF4 Vietnam, IFF6 India, IFF7 Pakistan, IFF10 Sri Lanka, IFF11 Nigeria, IFF12 Thailand, IFF14 Uzbekistan, IFF16 Egypt, IFF18 Bangladesh

〖必要〗消火器は6/6（金）7:30〜8:30の間にHUISAテントに取りに来る。
〖必要〗テント前面の見やすい場所に消火器と消火器設置区画証（→）を設置

消火器使用方法（名古屋市消防局動画）

リンク：https://www.youtube.com/watch?v=TM-Gsq-6Nyw　（二次元コードは右下）

【必要】消火器はテント前面の、非常時にすぐに確認・使用できる場所に設置する
【必要】雨天時はテント内に設置し、消火器が濡れないようにする
【必要】テントメンバー全員が消火器の位置と使用方法を把握しておく
【必要】運搬時は首元を持って運ぶ
【禁止】 黄色の安全栓に触れる
【禁止】強い衝撃を与えること
【禁止】水のすぐ近くなど、錆びる恐れのある場所への設置
【禁止】不安定な場所への設置

補償金

消火器の紛失・破損・故障および不適切な使用（本来の目的以外の使用）を行った場合、補償金として6,000円を請求します。

【重要】消防検査

- **消防署による防火検査は、6月6日（金）9:30から始まります。**
  当日は、朝8:00までに大学に到着し、準備を始めてください。
  ※レンタル用品を借りた団体は7：00に高等教育推進機構に取りに行く必要があります。詳細は “IFF Guide 2025 Rental Equipment, Container and Ice”を参照してください。
- **検査時点で準備が不十分だった場合、その団体は防火上の不備があると判断され、営業できません。**
  IFFスタッフは消防検査の結果についてはどうすることもできないので、各自緊張感をもって検査に備えてください。
- **なお、再検査は原則として行われません。**
  〖必要〗検査までに、物品（食品を除く）の準備と防火安全の自己点検を完了させる
  〖必要〗スレート板にアルミホイルを巻く（アルミホイルは自分で準備すること）
  〖必要〗検査までに、**Self-Check Sheetを記入し、掲示する。**
  ※Self-Check Sheetは北大祭当日の毎朝にその日のものが配られます。